

## 平成30年度 第1回 公益財団法人佐賀市文化振興財団第三者評価委員会の結果について

平成30年7月23日（月）に開催しました、公益財団法人佐賀市文化振興財団第三者評価委員会の概要は下記のとおりです。

### 記

- 1 開催日時 平成30年7月23日（月） 14時から15時30分
- 2 開催場所 佐賀市立東与賀文化ホール ミーティング室
- 3 出席者
  - ・公益財団法人佐賀市文化振興財団第三者評価委員会：8名  
委員長：高島忠平  
委員：石丸義弘、重松恵梨子、徳永浩、富吉賢太郎、  
平尾洋美、福成有美、峰悦男
  - ・公益財団法人佐賀市文化振興財団：5名
  - ・事務局：4名
- 4 議 題 平成29年度 実績評価について
  - (1) 自己評価
  - (2) 質疑応答
  - (3) 採点
  - (4) 集計
  - (5) 総合評価・意見交換
- 5 会議の公開又は非公開の別 公開
- 6 傍聴者数 0名
- 7 議事録（概要）

(1) 自己評価（文化振興財団）

《 公益財団法人 佐賀市文化振興財団 自己評価表 》 公益財団法人 佐賀市文化振興財団 平成29年度実績

◎判定の基準  
 【A】高い成果を収めている 【B】概ね良好な成果を収めている 【C】向上の余地がある。【D】見直しが必要である 【E】抜本的な見直しが必要である

評価項目	評価資料Ⅱ	自己評価	コメント(評価の理由等)
<b>1) 施設管理に関すること</b>			
① 必要な保守点検、修繕、管理を行い、施設・設備の機能維持と利用者の安全確保に努めているか。	P17,18,25～28	A	適切な保守点検、修繕を実施し、利用者の安全確保に努めた。
② 利用者目線で運営することを意識し、利用しやすい施設となるよう改善を図ることで、利用者の満足度が高いサービスを提供し、稼働率、利用者数を増加させることができたか。	P1～6		10～3月にかけて美術館ホール・アバンセ・メートプラザが工事のため休館したこともあり、文化会館・東与賀の利用者数・稼働率が上がり目標値を達成。特に東与賀の利用者数は、目標値の2倍以上の数字であった。
③ ホームページ、広報誌をはじめ様々なメディアを通し、広く施設及び事業の情報提供を行うことができたか。	P21		ホームページ、フェイスブック、広報誌「新風」、MOTEMOTEさが、テレビ、ラジオ、新聞記事・広告により広報活動に努めた。
<b>2) 文化事業に関すること</b>			
④ 文化事業の入場者数を増やし、文化に親しむ市民層の拡大に貢献することができたか。	P7～13	A	文化会館・東与賀は、企画・事業実施時期を計画的に実施し、広報媒体への露出も積極的に行った結果、入場者数・事業数ともに目標値を上回った。
⑤ 地域の文化サークルの作品展示、文化祭等の地域特性を活かしたイベントの開催支援や、福祉施設などでの芸術文化に触れる機会の提供を通して文化振興を図ることができたか。	P7～13		文化会館は、アウトリーチで公民館2ヶ所、老健施設3ヶ所を訪問し、今回初めて佐賀市国際交流協会を通じて市内の在住外国人を招待した。東与賀では、地元から講師を招き、「いけばな体験教室」や「短歌教室」を実施し、市民芸術祭で展示した佐賀北高書道部の作品を2週間に渡りホワイエで展示した。市文化連盟東与賀支部と共催で町民文化祭を実施した。
⑥ 将来の文化を担う子ども・青少年を育成する、鑑賞・体験事業を実施できたか。	P7～13		文化会館ではワークショップ3企画、アウトリーチを学校4カ所、市内の児童養護施設2カ所で実施し、東与賀ではワークショップ3企画を実施した。岡本知高コンサートでは、昭栄合唱部とジョイントさせ子ども達に貴重な体験してもらった。
⑦ 地元出身芸術家の起用、市民参加型のイベントの企画、発想の転換による新しい企画を打ち出すこと等により、地域文化の活性化を図ることができたか。	P7～13		文化会館では、和楽器のワークショップで地元の琴と尺八奏者を起用。東与賀では、県内在住音楽家のライブ公演、人形劇団の公演と人形作りのワークショップを組み合わせで実施した。「佐賀市文化・芸術人材バンク」は、登録アーティスト5組、市民の利用実績は1組だった。
<b>3) 財務に関すること</b>			
⑧ 市内企業からの協賛金、国や関連団体等による助成金等を積極的に獲得し、事業に活用することができたか。	P16、19	A	文化会館では、企業からの特別協賛金で九響・森山良子のコンサートやにわか公演を実施した。オフィシャルパートナーを6社から10社に増やした。東与賀では、三井住友海上文化財団や宝くじ事業の助成を受けてコンサートを実施した。
⑨ 積極的な情報提供やセールスにより、文化事業の入場者数、稼働率の向上に努め、文化事業収入、利用料金収入を増加することができたか。	P10～15		利用料金収入は、2施設とも昨年より大きく増加している。文化事業収入は文化会館・東与賀全体で黒字となった。
⑩ 経費の削減を図り、経営の効率を高めることができたか。	P16～18		適切な空調管理などで電気使用量の省エネルギーに努めた。
<b>前回の委員会「平成29年度の課題」</b>		<b>課題への対応状況</b>	
①オフィシャルパートナーの増加 ②フェイスブックなど新しいメディアの使い方の工夫。告知のみならず、企画・準備・交流の「今」の発信 ③広報（告知にたよらない）をより広く魅力あるものに ④地元出身の芸術家について、こんな人がいたんだ！という人材の発掘につながるようなイベントの実施		①新規協賛企業のオフィシャルパートナー獲得へ営業活動は継続して行った。その結果1社入会をとりつけた。 ②企画内容を紹介する演奏動画や共演する地元中学生の練習風景の写真、読み聞かせコンサートで親子の交流している写真をフェイスブックにアップした。 ③成人式の様子や全国大会出場した市内中学校の紹介、トイレ洋式化やエレベーター改修工事など施設の利便性向上の案内をフェイスブックにアップした。 ④市民芸術祭に出演した佐賀出身のシンガーソングライターshinoeやフレッシュアーティスト、介護老人施設でアウトリーチを実施したソプラノ歌手の江副友美さん等で公演機会の提供を行った。	
<b>平成29年度に高い実績を収めた事項</b>		<b>平成30年度に向けた課題</b>	
・文化会館での文化事業に関して、H28年度は入場者数が目標値(15,000名)に届かなかったことを踏まえ、H29年度は計画的に事業を実施し、21,996名(146.6%)に到達した。 ・オフィシャルパートナーが6社から4社増えて10社になった。 ・昨年度選定したレストランがオープンし、来館者への食のサービスが充実した。 ・友の会会員同士のネットワークを築き、友の会特典としての新しい試みと会員増につなげる観点から8月にバスツアーを企画し、九州国立博物館の「ラスコー展」見学と太宰府散策に24名の参加で実施した。		・佐賀市文化会館開館30周年事業の企画、実施 ・2019年全国総文祭、2023年佐賀国体に向け、佐賀市と連携して施設整備を進める。 ・文化会館・東与賀の利用者数、稼働率の目標達成	

## 【佐賀市文化振興財団による自己評価の説明】

### 1) 施設管理に関すること

- ・文化会館の利用者数は、平成28年度に比べ約4万人増の43万人で、目標の40万5千人を達成した。稼働率は、前年度に比べ3.99ポイント増の76.46%で、目標値の73.5%を達成した。
- ・東与賀文化ホールの利用者数は、平成28年度に比べ26,000人増の65,214名、目標の31,000人の倍以上だった。稼働率は前年度に比べ13.63ポイント増の60.37%で、目標の48.1%を達成した。
- ・これらの利用者数、稼働率の増加の主な要因は、平成29年度の特殊事情で、10月から3月まで、市内の美術館ホール、アバンセ、メートプラザの3館が約半年間、工事で休館し、利用者が流れてきたことがあげられる。
- ・保守点検や修繕等は確実に実施し安全確保に努めた。
- ・佐賀県総合運動場等の整備計画が進行している中、アリーナの建設等により現在佐賀県から借用している臨時駐車場300台が借用できなくなることで、建設後の総合運動場利用者と文化会館利用者の入場が重なった場合の交通混雑などの課題、問題点の抽出と、その対応策の検討業務を専門業者に委託した。

### 2) 文化事業に関すること

- ・文化会館の文化事業入場者数は、目標の15,000人より約7,000人多い、21,996名であった。
- ・入場者数増加の主な要因は、事業の企画、実施を計画的に行ったこと、テレビ、ラジオの広報を積極的に行ったこと、大ホールで実施した「さだまさしコンサートツアー」「辻井伸行 音楽と絵画コンサート」「大黒摩季コンサート」がいずれも満席、また「きかんしゃトーマス ファミリーミュージカル」「市川海老蔵 特別公演」の大ホール2回公演がほぼ満席だったことがあげられる。
- ・文化会館では、アウトリーチで公民館を2ヶ所、老健施設を3ヶ所訪問した。また初めて佐賀市国際交流協会を通じて市内の在住外国人の方を招待した。
- ・東与賀文化ホールでは、地元文化団体の方に講師をお願いした「いけばな体験教室」と「短歌教室」、また市民芸術祭で好評だった佐賀北高等学校書道部の作品展示、市文化連盟東与賀支部と共催して町民文化祭も実施した。また新しい企画として、図書館との共催で人形劇団の公演と人形づくりのワークショップを実施した。

### 3) 財務に関すること

- ・文化会館、東与賀文化ホールの利用料金収入は目標に達した。
- ・文化会館、東与賀文化ホールの指定管理料は目標の98%で経費節減になった。
- ・オフィシャルパートナーは6社から10社にできた。
- ・オフィシャルパートナーとは別に「九州交響楽団×森山良子」のコンサートや「にわかフェスティバル」などで市内企業から協賛金をいただいた。
- ・東与賀文化ホールでは、(公財)三井住友海上文化財団「地域住民のためのコンサート」、宝くじ文化公演事業の2つの助成事業を実施した。

## (2) 質疑応答(概要)

- 委員 アウトリーチで初めて在住外国人を招待したそうですが、内容をお聞かせいただけませんか。
- 財団 6月3日に本公演を行った曾根麻矢子さんのチェンバロコンサートの前日にアウトリーチを行いました。市の国際交流協会を通じて、市内の在住外国人の方にご案内しました。公演会場をお持ちではございませんので、中ホールにおいでいただき舞台上でチェンバロを囲んで聴いていただきました。市の国際交流協会の方からは、クラシックコンサートやイベントの案内が来ても、日本語を読まないで中身がわからないものは、在住外国人の皆さんに情報が伝わりにくいということでした。文化会館の中ホールでクラシックが聴けるというご案内にもなればと、この公演にして中ホールにおいでいただきました。県の国際交流協会からも一部来ていただいております。
- 委員 佐賀市がまちづくり自治基本条例を施行されて4年ほど経ちます。在住外国人も条例の中では市民に入るということで、市民が文化会館など文化施設を使う、佐賀の地で文化に触れるということがいい取り組みだと思いを伺いました。
- 委員 美術館ホール、アバンセ、メートプラザの工事は終わったんですか。
- 財団 終わっています。
- 委員 東与賀文化ホールの入場者がこれだけ増えたのは、美術館ホール、アバンセ、メートプラザの休館の影響が一番でしょうか。とすれば、ある意味では利用する人に不便をかけたということもあるかもしれませんが、実際に使ってみて良かったという声はなかったですか。
- 委員 利用者として東与賀文化ホールを使ったんですが、交通の便がづらいなど。希望日は空いていなかったもので、平日にやったということはありません。やり方によっては、ここでもいいという感じはしますが、出し物によっては市中心部でやった方がより観客動員がとれるということはありません。
- 委員 これだけ利用が増えるということは施設としては必要だということですね。
- 委員 これはやっている側の問題だと思うんですけど、劇場ということが一つあると思います。やっている人たちが劇場空間論というのをどれだけ頭に入れているか。どこでもいいというわけではないと思います。ですから東与賀に向いている出し物、美術館ホールに向いている出し物、アバンセに向いている出し物がそれぞれあると思います。だから利用者にとって選択肢が多いことが一番大切だと思います。もう一つ、文化事業をやったときに、東与賀は東与賀の特徴、それと機能というのが必要ではないかと。前も言ったと思いますけど、東与賀の文化活動の拠点としての側面をどれだけ捉えているかというのが大切じゃないかだと思います。
- 委員 宝くじ文化公演事業、三井住友海上文化財団の助成条件はどうなっていますか。
- 財団 まず三井住友海上文化財団は、出演料、交通費、宿泊費、アーティスト周りに関わる経費は全部、三井住友海上文化財団が負担されます。ホール代、チラシ作成などの印刷費、広告宣伝費は、主催者側が負担し、入場料収入は全て主催側のものになります。宝くじ文化公演事業は、これも自治総合センターがアーティストの周りに関わる経費を全部負担されます。入場料収入は自治総合センターと主催者側の折半になります。
- 委員 助成事業の限度額はいくらですか。
- 財団 金額ではなく、出演料関係を全部持つというかたちになっています。なお入場者数の目標は8割が目安になっています。

委員 これは毎年申請をしたら通るんですか。  
財団 希望が多いので難しいと思います。  
委員 全体での件数、佐賀県内での件数がありますからね。  
財団 平成30年度の事業を、昨年度2つとも申請しましたが全て不採択でした。  
委員 佐賀市文化芸術人材バンクについて、どういったジャンルの方が5組登録されていて、利用されたものはどのような利用だったのかを教えてください。  
財団 5組の登録の方は、フォークバンドが1組、和楽器の津軽三味線、薩摩琵琶の方がそれぞれお一人ずつ、ユーモア協会のにわか部会などです。老人クラブから定例会でにわか公演を見たいと申し出があり、老人クラブとユーモア協会のにわか部会を財団がパイプ役としてつなぎ、ご出演いただきました。  
委員 平成29年度の実績は目標を大幅に超えたわけですが、今年度に入って、この3ヶ月ぐらいの感じはどうか。  
財団 施設利用の実績は目標値に対して悪くない線で今までは来ています。  
委員 昨年度の他のホールの休館は年度後半だったので、年度前半はそう変わっていないという気がします。年度後半がどうなるかですね。たぶんその分は落ちるだろうという。  
委員 東与賀の主催事業の件数は増えているんですか。  
財団 平成28年度の12本に対して平成29年度は15本です。

### (3) 採点 (4) 集計 (5) 総合評価

委員 自己評価が全部A評価なので、よく頑張っているというか、今のマンパワー、人員からしたらものすごく頑張っていると言えるでしょうね。もっと人がいたらこういうことがやれるということはあるんですか。  
財団 他県の劇場のように、事業担当の職員が増えれば、事業を分担してそれをずっと担当するということもしやすくなると思います。オフィシャルパートナーをはじめとして営業に回るという行為もしやすくなると思います。例えば東与賀文化ホールは、東与賀町を中心にして、久保田、諸富、川副の4町の核となる施設に位置づけていますが、営業活動、公民館との連携などにもっと動く効果が出やすいので、マンパワーが充実すればそういうことに回せると思います。  
委員 東与賀は専用の駐車場がないから、平日に行事やイベントが重なると主催者で駐車場整理をしないといけないが、ご年配の主催者が多いので、駐車場整理はちょっと危なかしいですね。少し若い人が駐車場整理をできればいいけど。  
委員 道路を挟んで西側の運動公園の駐車場に停めて文化ホールに来られるんですか。  
委員 運動公園の駐車場を借りて駐車場係を置いているわけです。運動公園でスポーツ関係の行事があれば、ここからここは使えませんと言われるので、その時は駐車場係がいります。  
財団 基本的に主催事業は、それぞれの団体に必要と思われる駐車場整理の方をお願いしています。  
委員 1回1回人を雇ってするには、費用の面でちょっと厳しく、経費的に合わないですね。  
委員 県が総合運動場等の整備で、文化会館西側にアリーナをつくった場合の駐車場の見直しはいかがですか。  
事務局 非常に厳しいです。抜本的な対策はないかと。県はできるだけバスを活用して、ピ

ストン輸送を考えておられるようですが、今でも土日に文化会館と総合グラウンドの行事が重なったら、駐車場も周辺も混雑するので、そこに8,000席のアリーナができたらどうなるのか。少々駐車場を増やただけでは、とても追いつかない状況ではないかと思えます。皆さんに車で来ても停められないとっていただければいいかもしれませんが。

委員 今言われたように、駐車場がないというのも一つの考え方です。あるイベントで初年度はなんで駐車場を用意しないのかという苦情が来るということを知った上でやってみて、その後落ち着いた例もあります。

委員 福岡の文化施設の中には、満足するだけの駐車場がないところもあります。それはそれで通用するんじゃないかと。

委員 佐賀は、佐賀駅からシャトルバスに乗っても、佐賀駅周辺に駐車場がないですね。それが一番問題ですね。ほほえみ館前には駐車場がありますね。

事務局 バルーンの時のように、あちこち借りればいいんでしょうけど。

委員 駐車場がないということが定着するのに時間がかかるでしょうね。

財団 財団では、広報媒体で、できるだけ相乗りや公共交通機関を利用くださいとPRをしています。昨年の9月ぐらいからですが、施設に来る交通手段を確認しています。3月末までで80%がマイカーで、一人で乗られる方が多いです。広報はずっと努力していきたいと思えます。

委員 公民館は一つの文化活動の拠点になっています。公民館を使っている団体にもう少しアピールされたらいかかという気はあります。そうしたら文化活動の一番核となる文化会館になるんじゃないかと思えます。それと、文化施設で一番不足しているのは裏方で音響や照明などをするスタッフという気がしています。個々の団体が当然準備すべきことかもしれませんが、財政事情などを考えたら無理だろうなど。文化会館でそういう人たちの講習会をやっていただいたら少しはプラスになるかなと。佐賀市の文化会館としての役割もあろうし、もう一つは佐賀県内の文化施設の一つの核だから、県を中心の施設としての役割を今後考えてほしいなという気はしています。

評価項目		満点	得点計	得点率	判定				
<b>1) 施設管理に関すること</b>		240	202	84.2	A				
①	必要な保守点検、修繕、管理を行い、施設・設備の機能維持と利用者の安全確保に努めているか。	80	68	85	-				
②	利用者目線で運営することを意識し、利用しやすい施設となるよう改善を図ることで、利用者の満足度が高いサービスを提供し、稼働率、利用者数を増加させることができたか。	80	66	82.5	-				
③	ホームページ、広報誌をはじめ様々なメディアを通し、広く施設及び事業の情報提供を行うことができたか。	80	68	85	-				
委員コメント		<ul style="list-style-type: none"> <li>・時代変化、利用者の高齢化に伴い、すべき補修をしている。</li> <li>・特に東与賀文化ホールの駐車場の整理は主催者で実施・・・もう少し年配者教育をした方が？</li> <li>・稼働率、利用者数は増加しているも、理由が他施設が休館していたためというものだったら、利用者の満足度、サービスの向上には関係のないことなのでは？と思った。</li> <li>・他施設の休館の影響で利用増となった。</li> <li>・本年（H30年度）以降の課題として駐車場対応を考えていただきたい。</li> <li>・結果は文句のつけようがない。</li> <li>・フェイスブックによる広報は継続に意味があるが今のところよく更新されていて評価できる。</li> <li>・一事業、広報（販売）期間の短い事業があった。収支のマイナスにもつながっていたため早期告知、販売確保を期待したい。</li> </ul>							
<b>2) 文化事業に関すること</b>		320	266	83.1	A				
④	文化事業の入場者数を増やし、文化に親しむ市民層の拡大に貢献することができたか。	80	74	92.5	-				
⑤	地域の文化サークルの作品展示、文化祭等の地域特性を活かしたイベントの開催支援や、福祉施設などでの芸術文化に触れる機会の提供を通して文化振興を図ることができたか。	80	64	80	-				
⑥	将来の文化を担う子ども・青少年を育成する、鑑賞・体験事業を実施できたか。	80	64	80	-				
⑦	地元出身芸術家の起用、市民参加型のイベントの企画、発想の転換による新しい企画を打ち出すこと等により、地域文化の活性化を図ることができたか。	80	64	80	-				
委員コメント		<ul style="list-style-type: none"> <li>・合唱部とプロのジョイントなど子ども達の夢につながる企画であると感じる。</li> <li>・結果は文句のつけようがない。</li> <li>・福祉施設=老健施設3ヶ所は少ない気がしている。</li> <li>・在住外国人へ音楽を通じた交流は文化ならではの財団らしい手法である。</li> <li>・国際交流協会や福祉施設との連携、続けてほしい。</li> <li>・バスツアー企画のように支えてくれている人々の横のつながりが強められる催しは良い。</li> <li>・市民芸術祭、森山良子。非常に良かった。</li> <li>・九響×森山良子は空席が目立ちやや残念。企業よりチケットが残っているという声を聞いた。</li> </ul>							
<b>3) 財務に関すること</b>		240	210	87.5	A				
⑧	市内企業からの協賛金、国や関連団体等による助成金等を積極的に獲得し、事業に活用することができたか。	80	72	90	-				
⑨	積極的な情報提供やセールスにより、文化事業の入場者数、稼働率の向上に努め、文化事業収入、利用料金収入を増加することができたか。	80	72	90	-				
⑩	経費の縮減を図り、経営の効率を高めることができたか。	80	66	82.5	-				
委員コメント		<ul style="list-style-type: none"> <li>・オフィシャルパートナーの増加という高実績を評価したい。</li> <li>・寄付の選択肢が多い中でよく健闘している。</li> <li>・結果は文句のつけようがない。</li> </ul>							
◆総合		800	678	84.8	A				
◆総合評価		<table border="1"> <thead> <tr> <th>高い実績を収めた事項</th> <th>平成30年度の課題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化事業は自主事業の取り組みに熱意を感じる。協力団体等への協力体制が見られた。</li> <li>・オフィシャルパートナーが増えたことは高く評価できる。</li> <li>・在住外国人に目を向けた気配り。</li> <li>・他の施設が工事等で使用できなかったとはいえ、入場者数、利用率が増えたことは良かった。</li> <li>・友の会の活動が見えてきた。</li> <li>・市川海老蔵氏など人気（世代を超えて）のある事業の集客率はすごいと感じる。</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他施設と関係なく利用者数、稼働率を上げる。</li> <li>・利用者数と稼働率は下がることが予想されるが、広報活動をさらに充実させてほしい。</li> <li>・地域とのつながりを持ち、さらに広げていくこと。</li> <li>・当面2019高校総文祭の対策が大きな課題となる。市民の利用に不便が生じるのでは。</li> <li>・フェイスブック等SNSやWebsiteでの情報更新のさらなる活発化に期待する。</li> <li>・地元団体や地元出身者の企画は緒についたばかりで今後の取組に期待。</li> <li>・駐車場問題。</li> <li>・利用者のレストランの活性化。</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>				高い実績を収めた事項	平成30年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化事業は自主事業の取り組みに熱意を感じる。協力団体等への協力体制が見られた。</li> <li>・オフィシャルパートナーが増えたことは高く評価できる。</li> <li>・在住外国人に目を向けた気配り。</li> <li>・他の施設が工事等で使用できなかったとはいえ、入場者数、利用率が増えたことは良かった。</li> <li>・友の会の活動が見えてきた。</li> <li>・市川海老蔵氏など人気（世代を超えて）のある事業の集客率はすごいと感じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他施設と関係なく利用者数、稼働率を上げる。</li> <li>・利用者数と稼働率は下がることが予想されるが、広報活動をさらに充実させてほしい。</li> <li>・地域とのつながりを持ち、さらに広げていくこと。</li> <li>・当面2019高校総文祭の対策が大きな課題となる。市民の利用に不便が生じるのでは。</li> <li>・フェイスブック等SNSやWebsiteでの情報更新のさらなる活発化に期待する。</li> <li>・地元団体や地元出身者の企画は緒についたばかりで今後の取組に期待。</li> <li>・駐車場問題。</li> <li>・利用者のレストランの活性化。</li> </ul>
高い実績を収めた事項	平成30年度の課題								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化事業は自主事業の取り組みに熱意を感じる。協力団体等への協力体制が見られた。</li> <li>・オフィシャルパートナーが増えたことは高く評価できる。</li> <li>・在住外国人に目を向けた気配り。</li> <li>・他の施設が工事等で使用できなかったとはいえ、入場者数、利用率が増えたことは良かった。</li> <li>・友の会の活動が見えてきた。</li> <li>・市川海老蔵氏など人気（世代を超えて）のある事業の集客率はすごいと感じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他施設と関係なく利用者数、稼働率を上げる。</li> <li>・利用者数と稼働率は下がることが予想されるが、広報活動をさらに充実させてほしい。</li> <li>・地域とのつながりを持ち、さらに広げていくこと。</li> <li>・当面2019高校総文祭の対策が大きな課題となる。市民の利用に不便が生じるのでは。</li> <li>・フェイスブック等SNSやWebsiteでの情報更新のさらなる活発化に期待する。</li> <li>・地元団体や地元出身者の企画は緒についたばかりで今後の取組に期待。</li> <li>・駐車場問題。</li> <li>・利用者のレストランの活性化。</li> </ul>								